

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



イマジン
ロータリー

創立 / 1965年6月25日

例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~

会場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金1-12
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F

TEL / 0587-55-6554

FAX / 0587-59-7720

URL / <http://www.konan-rc.com/>

Mail / kouanarc@beach.ocn.ne.jp

会長 / 冨永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2023年(令和5年) 5月11日(木) 晴 第2760回(当年度第29回)例会

点鐘
司会
国歌斉唱

ロータリーソング斉唱
4つのテスト唱和

一言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介

学校法人滝学園 事務局長 壁谷 昭徳様



2022-23交換留学派遣候補生 井口 凜俐さん



会長挨拶



会長 冨永 典夫君

ゴールデンウィークが終わり多くの方があちらこちらへ外出されたことと思います。旅行も、コロナ渦以前の状態に戻ってきております。江南ロータリークラブの親睦家族会が大変楽しみであります。

さて、5月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる青少年奉仕月間でありませう。ロータリーでは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援しております。

12歳から18歳までの青少年を対象にして、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。また、18歳から30歳までの青少年を対象にしたローターアクトクラブでは、青少年がロータリアンの指導の下、積極的な奉仕活動と自己研鑽に励んでいます。そしてロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、ロータリーが実施する、若者のリーダーシップや良き市民、人間としての成長を目的にした研修で、毎年多くの若者が参加しています。最後に青少年交換では、年間8,000人もの若者が、長期・短期のホームステイを通し国際交流や異国の文化や経済について見識を深める貴重な経験の場となっております。本日は、青少年交換でチェコに行かれる井口凜俐さんが現

在の意気込みを語って頂きます。

江南ロータリークラブでは、ローターアクトの解散以降、青少年奉仕の活動が減少してしまいました。未来の社会や経済を担う若者への支援は、ロータリーとしても大変重要な奉仕活動だと思っています。どうぞ皆様も5月の青少年奉仕月間を、青少年について考え・奉仕活動する機会としていただければ幸いです。

青少年交換報告

派遣候補生 井口 凜俐さん



rotary
youth
exchange



滝高1年
井口凜俐

JP → CZ

Contents

1 地区の研修について

2 プレゼンテーション

3 ホストファミリーなど

RYEの特徴

2022/8

↓ JP 派遣候補生（準備期間）

2023/8

↓ cz インバウンド（派遣期間）

2024/8

↓ JP ROTEX

1 地区の研修
について

1 準備-50%
2 交流-25%
3 イベント-25%

1-1
地区の研修
-
準備

- ・書類
- ・派遣期間の注意
- ・インバウンドや ROTEX から経験を聞く

1-2
地区の研修-交流

- ・インバウンドとの交流（主に Rotex が企画）
- ・白馬スキー合宿
- ・プレゼンテーション、ディスカッション

1-3
ロータリーのイ
ベント

- ・地区大会
- ・ワールドふれあフェスタ
- ・カルチャーフェア

Contents

1 地区の研修について

2 プレゼンテーション

3 ホストファミリーなど

3 ホストファミリーなど

- ・合計4つのホストファミリー
- ・ RYE2760地区
- ・ 江南ロータリークラブ
- ・ 滝学園

1 Who is Lili?

- Lili IGUCHI
- 15 years old
- 2007/11/22
- Taki high school
- Hobby dancing ballet



THANK YOU
FOR
LISTENING!



幹事報告 **別紙** 幹事 **岩田 進市君**

出席報告 委員 **木本 寛君**

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	37名	11名	84.09%

contents

- 1 Where is Konan?
- 2 Who is Lili?
- 3 Where is my country?
- 4 What do I want to do?

ニコボックス 委員 **木本 寛君**

○地区研修・協議会報告よろしくお願いします！井口さんようこそ！

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平各君
○大型連休を利用して、44年振りに二度目のハネムーンに出掛けました。

倉知 正憲君
○井口凛例さん、ようこそお越し下さいました。本日地区研修報告させていただきます。よろしくお願いします。

堀尾 庄一君
○地区研修協議会の発表をさせていただきます。よろしくお願いします。

沢田 昌久君
○井口凛例さん、ようこそ江南ロータリークラブへ。本日青少年交換報告よろしくお願いします。

木本 寛君
○本日、地区研修協議会の報告をさせていただきます。よろしくお願い致します。

尾関 育良
○誕生日のお祝い、ありがとうございます。

濱島 聡一郎
○滝学園事務局長 壁谷明德様、派遣候補生 井口凛例さん、ようこそ江南ロータリークラブへ！



松岡 一成、庄田 元久、古田 嘉且、杉浦 賢二
伊藤 靖祐、沢田 昌久、長瀬 晴義、波多野 智章
富田 清孝、滝 祥夫 各君

卓 話

地区研修・協議会報告

次年度会長 富田 清孝君



4月9日に地区研修会ということで名古屋マリオットアソシアホテルに行っていました。

いつもの様にセレモニー、本会議、特別講演、分科会という順に進められており、セレモニーの後、次年度RI会長のビデオメッセージを見ました。

次年度RI会長はスコットランド出身のゴードンR. マッキナリーという方で、所属クラブはサウスクイーンズフェリーロータリークラブです。経歴はダンディー大学卒業後に口腔外科の学位を取得しエジンバラで歯科医院を経営し、その間にいろいろな役職をしてみえる方です。毎日いくつかの橋を渡り歯科医院に通っていたそうです。私は親近感を感じます。

ここで聞いた話ではありませんが、ガバナーエレクトの酒井さんの話によりますとマッキナリーさんは以前に弁護士をされていた弟さんを自殺で亡くされたそうです。それでたいそう悔やまれ深く心に傷を持った方だそうです。

次年度RIのテーマはCREATE HOPE in the WORLDです。世界に希望を生み出そうということです。これはロータリーが世界に変化をもたらす方法であると言ってみえました。

今世界は、新型コロナウイルスがおおくの人を傷つけ、又身近な人を失ったり、社会的なつながりを絶たっています。又、ロシアがウクライナに侵攻したり、世界中で多くの紛争がおこっています。

この様なことが世界を分断しています。だからこそ今世界に希望を生み出そうということだと思えます。

次に分科会でガバナーエレクトの酒井さんの話を聞きました。「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」というテーマです。そこでロータリーのプライドとは次の様に言ってみえました。

・私たちには奉仕の精神があふれているということ。

・ロータリーはなぜ不変なのか知っているということ。
・ロータリーが世界に欠かせない存在であるという信念があるということ。

ロータリーのブランドとは次の様に言ってみえました。

・良いイメージがあると地域から認められること。
・ロータリーが地域を支えているということ。
・会員が積極的に行動すればクラブの活動が更に促進されること。

そのプライドを持って行動すればやがてブランドになるということでした。

これでロータリーの問題は全て解決されるそうです。

次に伊藤靖祐さんの話がありました。

WFFを中日新聞で一面を使って宣伝したそうです。

次年度 会員増強常任委員長 堀尾 庄一君



第1分科会はテーマが

「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」で行われ、会員増強に関しては江南RCにも2回ほど来ていただいた名古屋錦RCの石井弘子さんに次期地区会員増強委員長としてお話していただきました。

内容は一言で言えば会員の増強と退会防止がクラブを強くする、ということです。

2760地区の会員数は1998年をピークにコロナなどで減ったものの、プラス5%を目標にすればコロナ前の水準に戻るようです。

ただし直近の1年では333名入会したものの340名が退会したそうです。ですから退会防止が大きな課題です。

増強に関しては従来の方法の強化、つまり会員候補者の情報と体験。さらに従来と違うターゲット、つまりアクトなどの若年層を対象にする。そのためには例会を月2回にするとかWEB例会にするとかで会費を安くするとかが考えられます。

また世界ではロータリアンの25%が女性であることから、やはり女性に力を入れていくということです。

今年度も地区では10月24日に「女性の集い」を、第2回は2月13日にZOOMで「女性の集い」を予定しています。

退会防止に関しては、退会はクラブに対するNO！であるという観点から個別の対応をする。また理由の不明確な退会はクラブに魅力と居場所が無いので、メンタシステムとか言っていました。メンタライジングシステムであれば心理学の世界なので難しいのですが、オリエンテーションを開催するとか同好会への参加を促すとか得意分野での役割をお願いする、とかが必要とのことでした。

次年度 公共イメージ向上常任委員長 尾関 育良君



次年度公共イメージ向上常任委員会委員長及びR情報・IT委員会委員長を仰せつかっております尾関育良です。宜しくお願ひ致します。

今回のご報告では、分科会の内容に絞ってお伝えさせていただきます。

私が研修を受けたのは、公共イメージについての第3分科会でした。

「ロータリーの公共イメージ向上とは」というテーマが掲げられ、まず、堀尾次期地区公共イメージ向上委員長から、公共イメージ向上委員会は、5つある地区の設置義務委員会の一つであり、重要な委員会であること、ロータリーの公共イメージとは何かという点、そして、ロータリーの公共イメージ向上のために利用できる資料が閲覧できる、マイロータリー内のブランドリソースセンター、WEBやSNSを活用したロータリーのPR方法や、クラブ公共イメージ向上委員会の役割などについてのお話がありました。

委員会の次年度の活動方針は、正しい公共イメージを提供することにより、ロータリーへの関心や参加を促すことに注力することであるとのこと。具体的には、マスメディアへの発信、HPの充実、SNSの活用などを挙げておられました。また、ずっと言われていることではありますが、My Rotaryへの登録促進を継続し、60%の登録を目標とするとのことでした。

また、ワールドフードふれあいフェスタは、公共イメージ向上のための一大イベントであるとの説明がありました。

今年も、愛知ロータリーEクラブとの合同例会の後に足を運びましたが、既に10回目と継続して開催されており、イベントの大きさからすれば、その通りだと思います。例年、分区ごとにブースを出していますので、次年度、東

尾張分区のガバナー補佐から何かしらの要請があった場合には、前向きに検討しなければならないかな、と思っていました。

次に、古市次期地区公共イメージ向上副委員長からロータリー公共イメージの必要性についてのお話がありました。

RIの戦略的優先事項として、社会により大きなインパクトをもたらすということがあり、これがすなわち、公共イメージの向上である、ということでした。そして、多くの人に社会のニーズを知らせ、情報共有を促すことが、ロータリーのビジョンの実現につながるということでした。

では、実際には、何を、誰が、どのようにして社会に発信していくのか。

まず、「何を」発信するかについては、奉仕プロジェクト、ロータリアンはどんな人なのか、ロータリークラブはどのような組織か、等を発信していくこととなります。

次に、「誰が」発信するかにつきましては、ロータリアン一人一人が、クラブが、そして地区が発信していくこととなります。

そして、「どのように」発信していくかについては、会報、ホームページ、地域のイベントが挙げられていました。

このようにして発信していく際のポイントとしては、適切なテーマ及び発信者の選択、ロータリーというブランドの活用、そして知ってもらいたいことだけではなく、人々が何を求めているかを考えて発信することが大切であるとの説明がありました。また、ロータリーのロゴについては、新しくなっており、クラブ名を入れることになっていますので、クラブ名を必ず入れるようにとの注意がありました。

そして、地区の委員会からのお願いとして、ポリオ根絶キャンペーンの発信、各クラブの奉仕活動を地区のホームページやフェイスブックに投稿すること、マスメディアを上手に活用して取り上げてもらうこと、等の要請がありました。

その後、児玉次期地区公共イメージ向上副委員長から、My Rotaryの登録とラーニングセンターの活用についてのお話がありました。

My Rotaryの登録につきましては、先ほどお話しさせていただきました通り、常に言われ続けていることですので、ご協力いただきますよう宜しくお願い致します。今年度の猪子委員長も一生懸命対応していただいていると思いますが、引き続き、私の方でも登録方法をサポート致しますので、遠慮なくお声掛けください。ちなみに、江南ロータリークラブの現在の登録率は58.33%のようです。

My Rotaryに登録しますと、ラーニングセンターが使用可能になります。コースカタログがありますので、これを選択してロータリーについて学ぶことができますので、是非ご活用下さい。

また、稲熊次期地区公共イメージ向上副委員長からは、公共イメージ向上のためのSNSの活用方法について

てのお話がありました。

公共イメージ向上についてのRIの考えは、ラーニングセンターで確認できますので、確認いただいた上で、ロータリーの活動を積極的にPRするような意識改革が求められているとのことでした。

ではどのようにPRするか、ということについて、ロータリアン一人一人がブランドの推進者であり、個人レベルでの発信を推奨しているとのことでした。従って、例えば、フェイスブックやインスタグラム、ツイッター等でフォロワーに向けてロータリーについて発信をしていくということでした。

私は、SNSをしないですので、なかなか難しいことだな、と思って聞いておりましたが、現代において情報を発信する、ということになれば、こうしたツールを使用しなければなかなか社会で認知されないというのも時代の流れなのかなと感じました。

その後、池森ロータリーの友時期地区代表委員より、ロータリーの友についてのお話がありました。

ロータリーの友への寄稿のお願いがありましたので皆さん、ご検討下さい。とりあえず出してみたいとのことでした。ただし、申込書は読める字で書いて欲しいとのことでした。また、広告の掲載も活用して欲しいとのことでしたので、あわせてご検討ください。

以上が、第3分科会のご報告となります。ご清聴ありがとうございました。

次年度 ロータリー財団常任委員長 沢田 昌久君



ロータリー財団常務委員長の沢田です。地区研修協議会では第六分科会に参加して来ました。

私達クラブがお世話になる補助金は、地区補助金だとおもいますので、その部分に重点をおいてお話ししたいと思います。

3年前20-21年度の年次基金への寄付総額は恒久基金を合わせて約80万ドルでした。

この総額は地区財団活動資金として40万ドル、国際財団活動資金として40万ドルとに等分されます。

そして地区財団活動資金をさらに地区補助金とグローバル補助金に等分配され、地区クラブの補助金事業として20万ドルが使われます。

国際財団活動資金は、財団本部がその用途を決定できるものですが、全く我々が使えない訳ではありません。

グローバル補助金の申請によって80%が上乘せされるものです。

地区補助金の条件というのは比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援、そして地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組むというのが要件になります。

そして、次年度から3年前に拠出した年次基金総額の金額の25%を地区補助金とする新しいルールになりました。

これは、今まで100万円の補助金を求められたら、100万円を超えるクラブの拠出金、総額200万円の事業として申請をお願いしていました。これでは年次基金が少ないクラブでも上限100万円を地区から出していたことになり、非常に不公平感があるということになります。また多くのクラブが多額の補助金を求めることで地区の補助金の残高が枯渇するということになりかねないという理由でもあります。そこで、今回のような年次基金の額に対して25%に限って出しましょう、その代わり、クラブの費用負担が無い事業でもかまわないということになりました。

合わせて事業にクラブ拠出金を加えて規模を大きくすることは、もちろん問題ないということです。

そして補助金事業の実施及び報告書作成の注意事項については、下記の内容を順守してほしいとのことでした。

- プロジェクト終了後1ヶ月以内に「最終報告書」を提出
- 補助金専用口座から支配を行う
- 講師の交通費や宿泊代金は、講師料に含めず、それぞれの領収書が必要
- 海外での事業の場合、講座から海外送金が望ましいが現金払いも良しとする。但し、必ず領収書を持参する。
- 提出書類が多言語の場合、必ず和訳を添付する。

以上です。

次年度 会長エレクト 南村 朋幸君





2023-24
国際ロータリー第2760地区
防災対策委員会

地区協プレゼンテーション(概略版)

委員長 南村 朋幸(江南RC)

防災対策委員会出向者(敬称略)

- | | |
|------------|---------------|
| アドバイザー | 神野 重行(名古屋駅RC) |
| 委員長 | 南村 朋幸(江南RC) |
| 副委員長 | 伊藤 満琉(名古屋北RC) |
| 委員 | 松本 哲一(江南RC) |
| 南尾張分区担当委員 | 近井 洋一(東海RC) |
| 西尾張分区担当委員 | 永井 伸治(稲沢RC) |
| 東尾張分区担当委員 | 伊藤 京子(瀬戸北) |
| 西名古屋分区担当委員 | 荒川 和生(名古屋栄) |
| 東名古屋分区担当委員 | 加藤 あつこ(名古屋名北) |
| 東三河分区担当委員 | 大町 敏之(蒲郡RC) |
| 西三河中分区担当委員 | 大野 教喜(豊田東RC) |
| 西三河分区担当委員 | 近藤 消隆(西尾一色RC) |

今日のお話

- 過去の地震災害をふりかえる
- 南海トラフ地震とは？
- 南海トラフ地震の被害想定
- 酒井ガバナ一年度の本委員会の取り組み

過去に愛知県ではどのような災害が発生したか？

発生年	区分	名称	被害状況 ※
1707年 (宝永4年)	地震	宝永地震	M8.6 死者2万人
1854年 (安政元年)	地震	安政東海地震	M8.4 死者2~3千人
1891年 (明治24年)	地震	濃尾地震	M8.0 死者7,273人 建物全壊14万余
1944年 (昭和19年)	地震	昭和三十九年南海地震	M7.9 死者・行方不明者1,223人 建物全壊1万7千棟余
1945年 (昭和20年)	地震	三河地震	M6.6 死者2,306人 建物全壊7千棟余
1959年 (昭和34年)	風水害	伊勢湾台風	死者・行方不明者5,098人 建物全壊4万棟余
2000年 (平成12年)	風水害	東海豪雨	死者10人 建物全壊29棟

※ 愛知県以外の被害も含む

南海トラフ地震とは

先月3月4日放映のNHKスペシャルのダイジェスト版ビデオをご覧ください

命をまもる
未来へつなぐ

過去に日本でどのような地震災害が発生したか？

1995年 阪神・淡路大震災

震源	淡路島北部
震源・内陸型	内陸型
発生日時	1995年1月17日5時46分
マグニチュード	M=7.3
最大震度	7(兵庫県神戸市他)
震源の深さ	16km
人的被害	死者6,434人、重軽傷者43,782人
住家被害	全壊104,909棟、半壊144,274棟
特徴	・死者の8割以上が住宅等の倒壊によるもの ・冬季季節の発生 ・都市直下型地震 ・ライフラインの寸断



神戸市防災情報 (2006.5.19) を元に作成

写真提供：兵庫県神戸市

過去に日本でどのような地震災害が発生したか？

2011年 東日本大震災

震源	三陸沖
震源・内陸型	海溝型
発生日時	2011年3月11日14時46分
マグニチュード	M=9.0
最大震度	最大震度7(宮城県栗原市)
震源の深さ	24km
人的被害	死者19,747人、行方不明者2,658人 負傷者6,242人
住家被害	全壊122,005棟、半壊283,156棟 一部破損749,732棟
特徴	・死者の9割以上が津波による溺死 ・行旅の混乱 ・電力網崩壊の発生 ・電話の不通 ・エレベーターの停止・閉じ込め

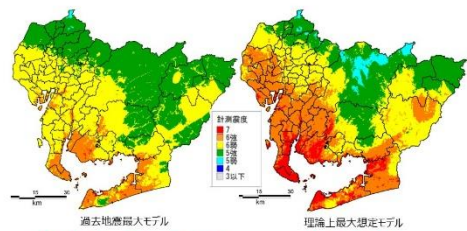


神戸市防災情報 (2011.3.31) を元に作成

写真提供：宮城県庁

南海トラフ地震の被害想定(2014年5月公表)

調査結果(震度分布)

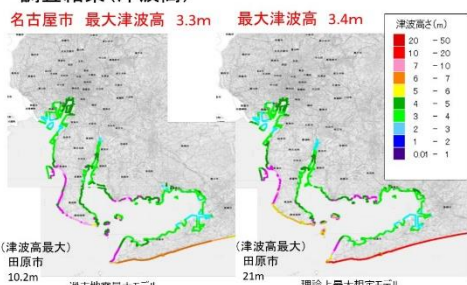


名古屋市 最大震度6強

最大震度7

南海トラフ地震の被害想定(2014年5月公表)

調査結果(津波高)



名古屋市 最大津波高 3.3m

最大津波高 3.4m

(津波高最大) 田原市 10.2m

(津波高最大) 田原市 21m

南海トラフ地震の被害想定(2014年5月公表)

調査結果(津波到達時間)
津波高30cmの到達時刻(分)

市町村	津波到達時刻(最短)		市町村	津波到達時刻(最長)	
	過去地震最大想定モデル	理論上最大想定モデル		過去地震最大想定モデル	理論上最大想定モデル
名古屋	103	90	知多市	76	73
豊橋市	9	5	高浜市	77	75
半田市	67	64	田原市	12	6
豊川市	78	77	弥富市	84	81
瑞浪市	57	55	飛島村	94	86
刈谷市	96	97	東浦町	85	83
西尾市	53	50	南知多町	21	18
蒲郡市	59	55	美浜町	27	30
常滑市	58	54	武豊町	58	55
東海市	99	88			

11

ご静聴ありがとうございました

16

南海トラフ地震の被害想定(2014年5月公表)

調査結果(建物被害、人的被害)

建物被害	過去地震最大		理論上最大想定		人的被害(死者)	過去地震最大		理論上最大想定	
	全壊	半壊	全壊	半壊		死者	死者	死者	死者
揺れ	約47,000	約158,000	約242,000	約314,000	建物倒壊等	約2,400	約14,000		
液状化	約18,000	約56,000	約16,000	約50,000	(5階以内建築物 移動・転倒・壁内等 劣化)	約200	約1,000		
浸水・津波	約8,400	約68,000	約22,000	約80,000	浸水・津波	約3,900	約13,000		
自然斜地崩壊等	約500	約1,300	約700	約1,800	(5階以下建物)	約1,100	約7,100		
地震火災による焼失	約23,000	-	約101,000	-	(5階力輸出建等)	約800	約5,500		
常壊・焼失/半壊 計	約94,000	約279,000	約382,000	約420,000	急傾斜地崩壊等	約50	約70		
					地震火災	約90	約2,400		
					死者計	約6,400	約29,000		

名古屋 全壊・焼失棟数
(過去地震最大) 約20,000棟
(理論上最大想定) 約64,000棟

死者数
(過去地震最大) 約1,500人
(理論上最大想定) 約5,300人

12

本日の食事



私たちロータリークラブにできること

- ・ 大切なのは一人ひとりの「正常性バイアス」からの脱却と正しい警戒の維持
- ・ 発災時の安否確認(方法・連絡経路)と愛知県防災部との情報共有
- ・ 必要な支援への会員企業の取り組みと把握

13

酒井ガバナー年度の防災対策委員会の取り組み

本年度は卓話者の派遣は致しません

- ・ それは時間をかけて少なくともこの一年間は防災について学ぶ年度にしたいと考えているからです
- ・ 分区ごとに“防災のスペシャリスト”が一名以上点在する環境を作り上げたい

ロータリアンで防災に詳しい方、有識者、興味のある方、探しています。次年度以降、当委員会へのご出向を是非ともお願いします。

14

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 尾関 育良・横山 史明)

